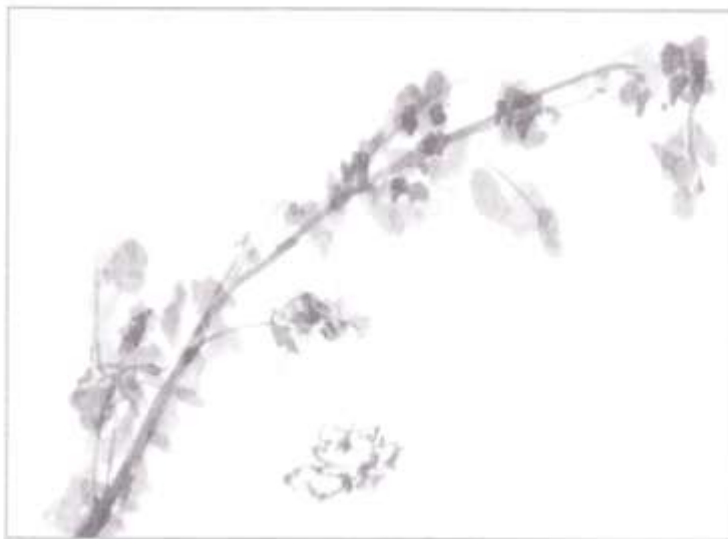


SSKU  
高次脳機能障害を考える

# サークルエコー

vol.33 (2008年8月号)



ツネヨ作

—サークルエコーは— {CHO}—  
事故や病気によって脳にダメージを受けると、新しいことが覚えにくくなったり、意欲が低下したり、感情のコントロールが難しくなるなどのため、社会生活の様々な場面で問題が生じることがあります。このような後遺症を高次脳機能障害といいます。目に見えにくい障害のため、社会の理解を得にくいこと、したがって現行の福祉制度を利用することが難しい点が大きな問題となっています。サークルエコーは、高次脳機能障害をとりまく問題の中で、特に、日常生活にも援助が必要な人たちの問題に取り組んでいます。

## 目次

ニュース……2 重度の高次脳機能障害者への支援も普及させてください②

レポート……6 おにぎりカフェ「ゆんるり」見学と「田川邸」を訪ねて

## 連載

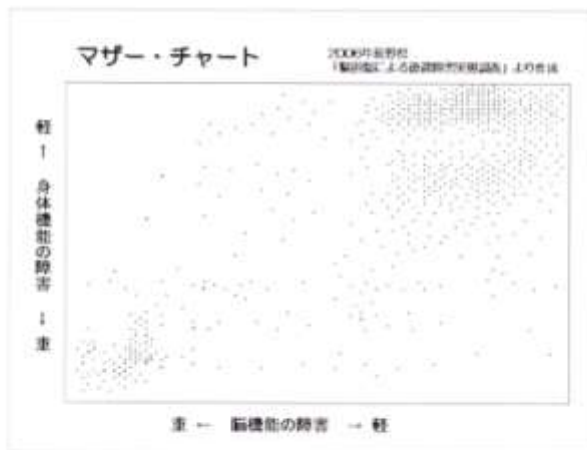
・高次脳機能障害の動向！…… 8

## 高次脳機能障害支援普及事業シンポジウム

### 重度の高次脳機能障害者への支援も普及させてください

田辺和子

前号に引き続き、2008年2月29日、港区の三田共用会議所において開催された、第2回地方支援拠点機関等全国連絡協議会につづく公開シンポジウムでの田辺和子代表の意見発表（後半）を紹介する。

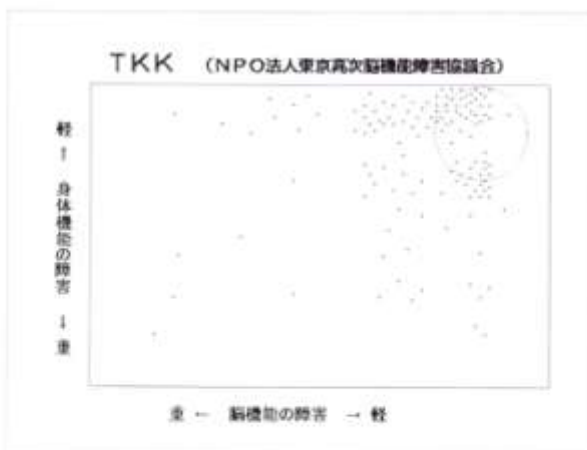


#### ★ マザーチャート

左のマザーチャートは、2006年の長野県・脳損傷の後遺障害実態調査をもとに、支援団体が作成したものです。回答者687名について、介護者が感じている「身体機能の障害」を縦軸に、「脳機能の障害」を横軸にした分布図で、下にいくほど身体障害の状態が重く、左にいくほど脳機能の障害が重いことを示しています。

右上に点が集中しているところがあります。「見た目には障害があるとは分からない」との説明でイメージされている高次脳機能障害の方々は、

そのあたりのことではないでしょうか。左下は意識障害を残している人たちです。医療的なケアが必要な方たちといえるでしょう。右下は「身体障害者」とされ、脳損傷の調査には含まれてこなかったのでしょうか。そして左上は、ほとんど空白地帯です。



#### ★ TKK(NPO法人東京高次脳機能障害協議会)

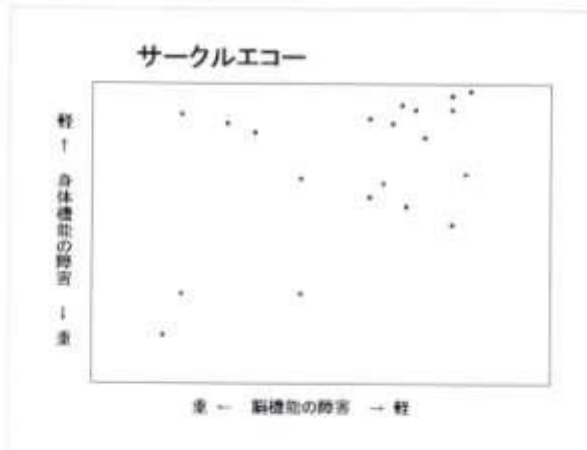
TKKのチャート分布図です。調査回収率は2割、約100人です。長野県は「脳損傷の後遺障害」の調査でしたので、左下にも密度の濃い部分でしたが、TKKは「高次脳機能障害」の団体ということで、意識障害と思われる方たちはほとんど参加していらっしゃらないわけです。

TKKも右上にいくほど密度が高くなっています。○印あたりが、今

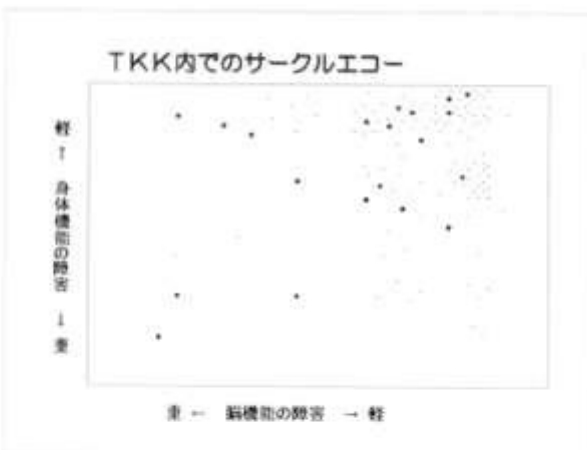
日の「高次脳機能障害者の就労支援」などでイメージされている人だと思えます。左になるほど「まばら」になっていきます。

しかし先ほどのマザーチャートでも、ほとんど点がなかった左上にもポツポツと点があります。これはどのような人たちなのでしょう。

### ★ サークルエコーのチャート図



サークルエコーでは、会員20名がアンケートに答えました。約7割の回収率です。長野のチャートでも、ほとんど空白だった左上にも点が散らばって存在し、左下にもあります。これが、サークルエコーの特徴と言えるでしょう。ほとんどが低酸素脳症を原因とした人たちです。



### ★ TKK内でのサークルエコー

TKKのチャートを小さい点(背景)にしてサークルエコーを示します。サークルエコーの分をとり去ったら、左の方はほとんど空白になってしまいます。

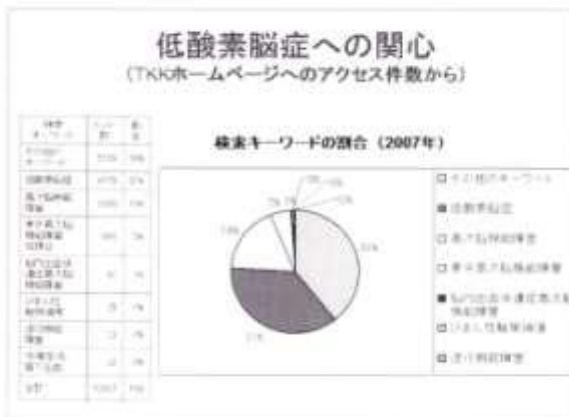
「長野の脳損傷調査でも空白だったところ」「TKKでサークルエコーを外したら空白になってしまう空間」……

そこに存在する人は、本当に少ないのでしょうか。サークルエコーだけにしか存在しない人たちなのでしょう。

★ 低酸素脳症への関心

(TKKホームページへのアクセス件数から)

これは、TKKのホームページへのアクセス件数の統計です。開設した昨年1年間で、大体13000件のアクセスがありました。



どんなキーワードでTKKにアクセスしたのかを調べてみて、驚きました。一番多かったのが「低酸素脳症」という単語だったのです。「低酸素脳症」が全体の37%を占め、「高次脳機能障害」の18%を2倍も上回っています。

このことから、急性期の段階で「低酸素脳症」と診断されたものの、必要な情報が得られず悩んでいる人は予想外に多いのではないかと、あらためて思いました。サークルエコーへの電話相談で感じることは、症状が重いと、リハビリ病院にも受け入れられず、家庭復帰さえままならない人が多いことです。「高次脳機能障害」との情報さえ届いていない人も少なくありません。

- ※ 低酸素脳症に関する情報提供を多くの人が持っていること
- ※ 重度の高次脳機能障害を持つ人に適切な支援が届いていないこと

この二点を、あらためてお伝えしたいと思います。

★ 高次脳機能障害者支援普及事業は、重度の高次脳機能障害者への支援も普及させてください。

5年にわたる高次脳機能障害者支援モデル事業と、現在行われている支援普及事業で、「高次脳機能障害」の知名度はずいぶん上がりました。

しかし、支援普及事業はいつまでも続くものではないはず。今、支援普及事業の取組みから離れる人を残し続けられれば、将来に禍根を残すことになります。

「高次脳機能障害者支援普及事業は、重度の高次脳機能障害者への支援も普及させてください」

## エコー 10周年記念合宿「みんなで大いに語ろう会」 みなさんの参加、お待ちしております！

サークルエコーは今年12月で発足10周年を迎えます。  
例年、河口湖近くの富士高原ファミリーロッジで合宿を行っていますが、  
今年は10周年を記念し、渡邊修先生、赤塚光子先生を囲み、「みんなで大いに語ろう会」を開きます。  
座席に限りがありますので、ご参加ご希望の方はお早めにご連絡ください。

開催日時：平成20年10月18日（土）13時～17時

場 所：山梨県富士吉田市 富士高原ファミリーロッジ

主 催：高次脳機能障害を考える「サークルエコー」 後 援：NPO法人東京高次脳機能障害協議会

### プログラム

- ・講座：(40分)・・・講師：渡邊 修 氏 (首都大学東京教授)
- ・講座：(40分)・・・講師：赤塚 光子 氏 (立教大学教授)
- ・語ろう会：参加者 (コーディネート：赤塚先生)

参加申し込み/問合せ先：TEL 0422-51-4137 高橋宛 電子メール ka6wi2@bma.biglobe.ne.jp

### ギャラリー

右の写真はカオさんがつくった朝食です。トーストにオレンジ、スープ、サラダ……。朝はコーヒー1杯ですませる私から見ると、うらやましい限りです。  
右下のきゅうりと左下の人参の絵も、同じくカオさんの作品です。





## レポート

# おにぎりカフェ “ゆんるり” 見学と “田川邸” を訪ねて

2008年6月8日、かねてからえこーたいむの一端として予定していた「ゆんるり」(神奈川県横浜須賀市)の見学が実現しました。その日の様子を高橋(ま)さんがインタビューしてくださいました。

6月8日、高次脳機能障害者が実際に働く場所を初めて見学に行きました。食事が運ばれるまで、一途に働く当事者の方達に、ついつい見入ってしまいましたが、こうして働くことが本人のリハビリにつながり、新たに生きる道=社会復帰につながっていくのだと、確信めいたものを感じました。そして、自分の妻もデイセンターで多少の援助があるのかもしれませんが、家事を行っていることを知ると、一日数時間でもこうした場で「働く」という意識を持たせ、言い聞かせ、「入所」できたら少し変わるかも、変わらなくともその一瞬だけでも一生懸命になれる時間、夢中になれる時間が持てればと、想いが飛躍しました。

おにぎりセットでの昼食後、支店長から説明を受けましたが、高次脳機能障害者への「個別支援が足りない」ことから始まり、現在12名(うち身体障害者3名)の方が登録、障害の状態をよく把握し、記憶障害の方には時間と仕事の関連等をカードに



記すなど個別の対応に工夫をされているとのこと。「支援は継続性が肝心。そのためにも身近な地域でサポートできる態勢が必要です」と神奈川県リハビリテーション病院の生方医療福祉総合相談室長は言われています。

家族……高橋(俊)



ゆっくりとしてすてきな部屋でした。

ツネヨ

田川さんちでポッキーを食べておいしかったです。田川さんちは、大きくてきれいでした。

ヨシ

おにぎりがおいしかった！楽しかった！

家族……奈々ちゃん

「ゆんるり」は、思ったとおり素敵な場所でした。おにぎりセットもおいしかったです。

田川さん宅まで車で移動し、大勢でおじゃましました。静かなところでゆったりとした時間を過ごせました。田川さんありがとうございました！

家族……西田(母)

久しぶりに「えこーたいむ」に出席できて、楽しいひとときを過ごせました。

「ゆんるり」の昼食は、思っていたよりたくさんのおかずがあっておいしかったです。

家族……西田(父)

横須賀の地に念願の家族会「マリン横須賀」ができ、支援センターの方々の努力により、おにぎり喫茶「ゆるり」が誕生しました。高次脳機能障害者の社会参加の場としては、画期的な管から注目される場でもあります。

自分の行く場が見つかり、毎日毎日の積み重ねにより、みるみる表情が輝き、生き生きとしてくる様子。このような「場」と「多くの理解」があれば、十分社会参加ができるのだと感じました。

エコーの仲間たちにもこのような参加できる場が与えられたら、もっとたくさんできることが増えていくのではないかしらと思いました。

家族……田川(母)



総勢14名で訪れた「ゆるり」の店内は広くて明るく、8名のスタッフは真剣に働いていました。ランチはコーヒー付で500円。食事をしているあいだも、お客さんが大勢来店していました。にぎやかに食事をした後は、田川邸を訪問。楽しく歓談して過ごしました。梅雨の晴れ間に、お庭のさつきが輝いて咲いていました。

サポーター……廖

「知らない建物に入ることを警戒するタイ。「ゆるり」にびったり車をつけて、うまく中に入れた……と思ったら、すぐに車にUターン。車から降りなくなりました……。みんなの到着を待って、近所を回って、大勢の波に乗って中に入れました。そのあとは、うって変わって楽しい時間となりました。

家族……田辺



ヨシくんとななちゃんとおそんだのが、たのしかった。

家族……ユキちゃん

ランチがお得で、とてもおいしかったです。田川さん家のお庭は、ステキでした。みんなで楽しかったです。

家族……大島

参加者にインタビューさせていただくのも、今回で3回目。

みなさんがそれぞれに「ゆるり見学」そして「田川さん宅訪問」を、心ゆくまで楽しみ、笑顔がいっぱいの「きょうの「えこーたいむ」」でした。

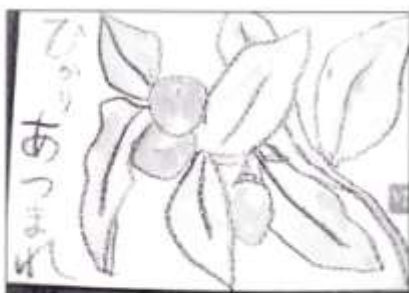
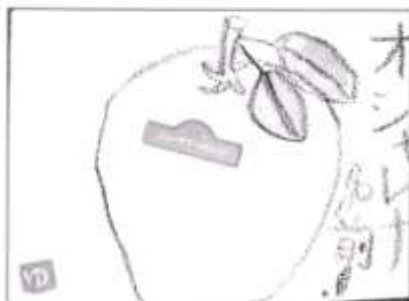
田川さんのお宅でゆったりとした時間を過ごさせていただき、みなさんもすっかりリラックスされ

ていたからでしょうか、お配りした「コメントカード」にはほとんど全員の方が、その場でたくさんのおいしい感想を書いてくださいました。

さて、次回はどちらから「きょうの「えこーたいむ」」の、レポートができるでしょうか？ 楽しみです。

サポーター……高橋(ま)

ギャラリー  
くわんご



大学2年生の時、夏、スキューバダイビングの講習に出ないかと誘われて、参加したのが、悪いことの始まりでした。この事故の直中、どうやって恩が返せるのかと考えました。付き添いの祖母の介護が忘れられませんか。5ヶ月入院しました。物事がわごとで忘れてました。運動量を減らなくてはならないことに気づきました。寝てたつてことは、立てなかった時のことです。私の場合は、「身体」だったから、おが、親切に思えたのです。お医者さんは、みんな親切にしてくれました。復学した時で、みんな親切にしてくれました。事故に遭わなかったら、卒業できたのにと思いました。苦しかったのはこの辺りです。苦しかったことは、祖母のぬくもりと愛です。事故に遭ったことは、悔しかったけど、苦しかったことは、アレビに出られたことです。助けられたことは、嬉しいです。おとほ、仕事してくれたことで、嬉しいです。おがさんにこうやって、話せることを嬉しいです。これから夏休みになります。何か活動する時は、安全第一に考えて下さい。焦らないことも大切です。私自身にも言っていることです。新しい、少しづつでもいいので、長くやりたいことです。カアケのハッキーのこと。おがより話したいです。少しづつ障害を改善したいと思えます。

コウコ

エウコさんからは、お手紙と絵手紙を頂戴しました。上はオレンジの、下はびわの絵手紙です。

理解を求めて ~会員の広報活動~

講演・発表

田辺和子「重度の高次脳機能障害者の支援」TKKシンポジウム (日本財団 / 7月6日)

伊地山悠子・敏「若年の高次脳機能障害のある人の理解 (気持ち、生活のしづらさ)と地域生活支援を考える」 (浦和大学 / 7月2日、7月7日)

原稿

田辺和子「ニュージーランド脳損傷事情」 (鉄道弘済会冊子「リハビリテーション」7月号)

取材

村田遼平「北杜の村田さん、全国水彩画で入賞……夢は画家」(山梨日日新聞 / 6月20日)  
田辺和子「翔ける人」(中央法規出版 / 「りんくる」9月号)





## 高次脳機能障害の動向!

### 「高次脳機能障害者のためのボランティア(支援者)養成講座-1-、開催!

去る5月25日、NPO法人東京高次脳機能障害協議会による第一回目の「高次脳機能障害者のためのボランティア(支援者)養成講座」が新宿の東京都心身障害者福祉センターで開催されました。

午前は、帝京平成大学教授中島恵子氏による「高次脳機能障害を理解するー脳のリハビリー」の講演。脳の各部位の働き、高次脳機能障害の原因や症状、効果的なリ

ハビリについて話されました。午後は「安全な介助法、役に立つ介助法、上手なコミュニケーションのとり方」について、国立精神・神経センター病院の広実真弓氏、湘野辺総合病院の高藤和夫氏、斎藤祐美子氏の講演のあと、当事者の協力を得ての実習が行われ、最後にTKK役員から一人一人に終了証書が授与されました。養成講座は、年度内に3回が予定されています。(文・高橋俊夫)

### 東京高次脳機能障害協議会(TKK)がNPO設立記念シンポジウムを開催

7月6日、昨年と同じ赤坂の日本財団で高次脳機能障害シンポジウム「いま、ほしい!支援を実現するために」が開催されました。

ストランデル氏の講演では、①スウェーデンの福祉には100年の歴史がある、②高福祉を実現しつつ経済成長を続けている、③障害者への施策は投資と考える(=障害者も働き納税者となる)、④社会保障を進めるためには国家としての理念が大切である、⑤日本は世界一の車をつくれるが、世界一お粗末な車いすをつくられていることに驚いた、などのお話がありました。

渡邊 修氏の講演では、東京都高次脳機能障害者実態調査の概要として、現在東京都には高次脳機能障害者は推計で49,508人(男68.5%)おり、年間推計で3,010人が増えていくこと、また、通院されている方では速行機能障害・記憶障害・注意障害行動と感情の障害が多く、家族からの指摘で多いのは意欲低下だったこと、リハビリは良い環境の下で、周囲の人が障害を理解し、繰り返し練習をすることが大事、都内を12の地域にわけ、急

性期から社会適応までの地域連携のネットワークの充実を目指しているといったお話がありました。

パネルディスカッションはTKKの3役員が加わり、今井雅子氏(TKK副理事長・高次脳機能障害者と家族の会/世田谷高次脳機能障害連絡協議会代表)は「私たちが必要としているものー東京都高次脳機能障害者ニーズ・実態調査からー」、田辺和子(TKK副理事長・当会代表)は「重度の高次脳機能障害者を持つ人への支援」、細見み奈氏(TKK理事長)は「TKKの高次脳機能障害者とその家族の立場から」のタイトルで、それぞれパワーポイントでの主張でした。とくに田辺代表はエコー当時の特徴を「しなの」のマザーチャートから説明。そして、TKKのHPに低脳脊髄症へのアクセスが多いこと、重度者への受け入れは進まず、医療・福祉・社会の無関心、グループホームなど支援付きの住まいが早急に必要であることを強調しました。

最後に細見理事長から「TKK五カ年事業計画」が発表されました。(文・高橋俊夫)

### 東京都が高次脳機能障害者実態調査報告(朝日新聞2008年5月15日朝刊)

## 高次脳機能障害 都内に推計5万人

**1 割弱は公的支援無し**

東京都が発表した高次脳機能障害者実態調査報告書によると、都内には推計5万人の高次脳機能障害者がいることが明らかになった。そのうち約1割弱は公的支援を受けていないことが分かった。

東京都は、高次脳機能障害者に対する公的支援の現状を明らかにするために、都内23区を対象に調査を行った。調査の結果、都内には推計5万人の高次脳機能障害者がいることが明らかになった。そのうち約1割弱は公的支援を受けていないことが分かった。

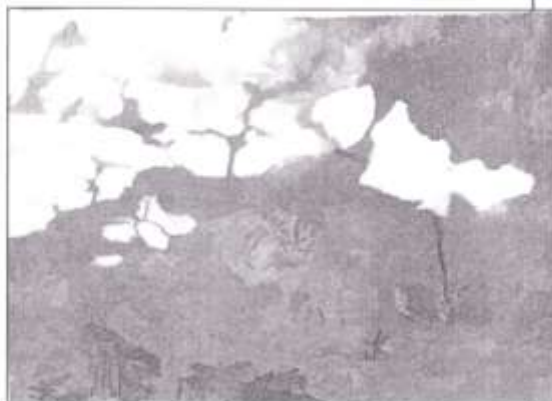
調査によると、高次脳機能障害者に対する公的支援の現状は、全国的に比べて低い水準にあることが分かった。また、障害者に対する公的支援の不足は、障害者の生活に大きな影響を与えていることが分かった。

東京都は、高次脳機能障害者に対する公的支援の現状を明らかにするために、都内23区を対象に調査を行った。調査の結果、都内には推計5万人の高次脳機能障害者がいることが明らかになった。そのうち約1割弱は公的支援を受けていないことが分かった。

ギャラリー  
くまのこころ



リョウヘイさんの絵が水彩連盟展で入選しました！  
おめでとう！ リョウヘイさん



### Newspaper. (新聞)

光通の全曜、新聞に載った。  
犯罪ではなく、国立新美術館に絵が展示されたこと。  
英会話教室でウェインとヨシにそのことを話したら、ほかの日本人の先生にいい、その先生が新聞社に伝えた。その記事には、「北杜市の村田達平さんの絵が国立新美術館に水彩連盟展に入選し展示されました。村田さんは脳腫瘍の後遺症で目と脚に障害があります……」てなことが書いてありました。  
あ、もちろん写真付きで。

*Of course the article was with photograph!*  
(一番言いたかったこと)彼は絵をとおして自然の大切さを訴えていきたいそうです。

詩・絵ともに ブログ「welcome to my world」より  
リョウヘイ作 <http://blog.goo.ne.jp/magasaki1956/>

## 「高次脳機能障害者のためのボランティア(支援者)養成講座-2-」開催!

日 時: 10月5日(日) 10:00~16:30

場 所: 東京都心身障害者福祉センター

参加費: 無料

定 員: 100名

### プログラム

午前: 講義「高次脳機能障害の対応～脳と心のリハビリ」講師: 橋本主司氏

午後: 実習1「社会復帰リハビリ～羅針版」講師: 橋本主司氏 当事者・家族

実習2「地域リハビリ～調布ドリームの実践から」音楽、SST、ドリームラボ等  
コーチ・当事者・家族・ボランティア・参加者

詳細はTKKホームページ <http://www.brain-tkk.com>

申し込み FAX:03-3200-8970(太田) 問い合わせ TEL:03-3408-3798(総見)

## サークルエコー行事&会合報告

- 4/24 TKKシンポ パネリスト打ち合わせ— 南青山 (田辺)  
4/26 えこーたいむ— 高橋宅 (田辺2、西田2、田川、高橋2、岩田2、本橋、川村氏 計11名)  
5/3 エコー役員会— 柏江 (田辺2、西田2、高橋2)  
5/16 マリン横須賀 儀上台シャローム (田川)  
5/19 TKKシンポ 講師/パネリスト打ち合わせ— スウェーデン大使館 (田辺)  
5/22 会報印刷— 多摩スポーツセンター (高橋2、西田2)  
5/24 えこーたいむ— 高橋宅 (田辺2、西田2、田川3、大島2、高橋2、小枝、高橋5、摩 計14名)  
5/25 TKK 高次脳機能障害ボランティア養成講座(1)— 都身障 (田辺、伊地山3、高橋2、小枝)  
5/27 障害者権利条約学習会— 川崎市 (田辺、高橋、西田)  
6/1 賛助会員情報交換 (在外会員)— 渋谷 (田辺)  
6/1 TKK理事会・総会— 世田谷ボラセン (田辺、高橋2)  
6/8 ゆんるり見学/えこーたいむ— 田川宅  
(田辺2、西田4、田川4、大島2、高橋2、高橋5、摩 計16名)  
6/10 TKKシンポジウム打ち合わせ— 世田谷総合福祉センター (田辺)  
6/16 ベル—研修者 (JICA) と「サークルエコーの歩み」— あゆたか (田辺、西田)  
6/17 取材・高次脳機能障害について (中央法規出版)— 田辺宅 (田辺)  
6/19 第2回 TKKシンポジウム第2回実行委員会— 世田谷ボラセン (田辺、高橋2)  
6/24 会報編集会議— 田辺宅 (田辺、西田2、高橋2、伊藤 計6名)  
6/25 TKKシンポ配布資料校正— ひとまち社 (田辺)  
6/28 えこーたいむ— 高橋宅 (田辺、岩口、西田、田川2、高橋2 計7名)  
6/29 オーストラリア研修報告会 (海外偏在の会ナナ)— スマイル中野 (田辺)  
7/2 20年度支援拠点機関全国連絡協議会— 国リハ (伊・和)  
7/2 若年の高次脳機能障害のある人の理解と地域生活支援を考える— 満和大学 (伊2)  
7/2 TKKシンポジウム最終実行委員会— 日本財団 (田辺、高橋)  
7/6 TKKNPO 法人設立記念シンポジウム— 日本財団 (田辺、西田、伊地山3、高橋2、小枝)  
7/7 若年の高次脳機能障害のある人の理解と地域生活支援を考える— 満和大学 (伊2)  
7/10 取材・雑誌「りんくる」(中央法規出版)— 田辺宅 (田辺)  
7/10 会合ふらっと/TKK理事長・副理事長— ふらっと (田辺)  
7/13 撮保ジャパン記念講演・シンポジウム— 徳の門 (田辺)  
7/20 マリン横須賀— ゆんるり (田川)  
7/21 TKK理事会 & シンポジウム反省会— (田辺、高橋)  
7/21 TKK 救済委員会— (田辺)  
7/23 第3回高次脳機能障害者支援連携調整委員会 都身障 (田辺)  
7/26 えこーたいむ— 田辺宅 (田辺、西田、田川、高橋2、リョウ、高橋5 計7名)  
7/29 NPO 助成首都圏贈呈式— (田辺)

## フレンズ便り

3年前から始めた家族勉強会も14回目を迎えました。  
「家族も福祉の事を少しは知っておいた方がよいだろう」と  
吉川先生 (フレンズアドバイザー: 愛知県立大学福祉学科専  
任准教授) からアドバイスを。前回はCF「国際生活機能  
分類」、今回は「権利擁護」のながより「成年後見制度」に

ついて学びました。  
次回 (9月28日) は、日常生活自立支援事業について学び  
ます。  
この会は、家族同士が本音で話し合える貴重な勉強の場と  
なっており、これからも継続して行きたいと思います。

## ご支援ありがとうございました

2008年5月～7月までに寄付、賛助会員費をお寄せくださった方々です。(79名、順不同・敬称略)

粉川靖子	山崎百合枝	田中慶子	石川孝子	植垣克己	綿森淑子	小出喜美枝	永瀬晴美
菊池照寿	佐藤マリ子	入江清子	志田 静	右田洋子	神山悦子	岩澤克忠	渡辺千賀
和田敏子	本山千恵子	伊藤雄子	伊東和雄	吉野庸子	上山勝恵	三本菅弘江	大綱久子
廣山寿江	山崎サカエ	清水桂子	鶴田成子	佐藤明笑	杉尾操	戸館登輝男	吉川ひろみ
丹宗知子	松岡麻美子	秋元敏雄	飯塚慶子	石井紀子	太田サヨ	小島真理子	坊傳登美子
関君子	金原美智子	吉田道子	森節子	武居光雄	武田大介	万歳登茂子	石橋靖子
十時成也	金子ひとみ	黒沢久子	佐藤節子	小川嘉道	島根良男	斉藤紀久男	山岸すみ子
谷みどり	佐々木公一	佐藤チヨ	佐藤久夫	鈴木和子	柴崎美穂	一ノ瀬純二	石渡和美
工藤初美	北條代志江	金谷伸子	関啓子	吉田実	植村研次	GOTI 英子	中村郁子
北條航	北條飛帆	青木円	古岡真実	中島 明子	中島久美子	群馬県協会	

正会員(当事者家族)は、入会金1,000円、年会費3,000円です。

今年度も賛助会員へのご協力宜しくお願いします。

年会費(4月～3月)1口 2,000円  
郵便振替 00180-0-546112 サークルエコー

### 2008年9月～10月 エコー行事予定

- ・えこーたいむ…… 9/27(場所未定) 変更の場合がありますので、ご確認ください。
- ・多摩エコー…… 随時
- ・ナノ…… 随時
- ・フレンズハウス(湘戸市) 毎週月曜、火曜、土曜 第1-3会場
- ・合宿…… 10/18～10/19

## 作品募集!

家族、支援者、サポーターの方の「原稿」、家族の方の息子(娘、夫、妻)が語った、「今日のひと言」、当事者の方の「原稿」、「絵」、「イラスト」、「詩」、「短歌」、「川柳」、「写真」、「手芸作品の写真」、「私のおすすめの本」、「私のおすすめのテレビ番組」、「お気に入りの言葉」など、募集しています!

お問い合わせは、編集担当 ☎ 047-406-8180 メール ke-ito@haduki.co.jp まで。

編集後記: この夏はオリンピックで盛り上がりました。それにしても、メダル獲得後、日本の賞金額の低さには毎回驚かされます。もし、賞金が高ければ……メダル獲得後の「燃え尽き症候群」は、少なくなるかもしれません。がんばっただけの報酬が得られないと、モチベーションの維持は困難なのではないでしょうか。これは、スポーツ選手だけの話ではありません。身近な知恵関係者も燃え尽きてしまう人は少なくないのではないでしょうか。

### サークルエコー 連絡先

田道 和子(代表) 〒201-0013 東京都江市区元和東2-7-1 TEL/FAX 03-3430-8937  
谷口眞知子(ナノ) 〒341-0044 埼玉県三郷市戸ヶ崎2193-1 TEL/FAX 048-056-2224  
豊田 幸子(フレンズ) 〒489-0087 愛知県瀬戸市西山町1-60-20 TEL/FAX 0561-82-1498

☆ホームページ☆ サークルエコー <http://www.circle-echo.com>

発行所  
郵便番号一五七〇〇七三  
東京都世田谷区第六二六六一二二  
特定非営利活動法人障害者団体共同発行物協会  
定価 百円